オフィス・ソメヤ通信

2025年10月号 No.160

〈発行〉社会保険労務士オフィス・ソメヤ 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-23-7 第 3 瑞穂ビル 209 号室

e-mail info@office-someya.jp

令和7年度の地域別最低賃金の正式決定!

令和7年度の地域別最低賃金について、各地方最低賃金審議会での答申が出揃い、すべての都道府県から正式決定の公示がありました。発効年月日とともに、最寄りの地域の地域別最低賃金の額をご確認ください。

- ・47 都道府県で、63 円~82 円の引上げ
 - (引上げ額が82円は1県、81円は1県、80円は1県、79円は1県、78円は3県、77円は2県、76円は1県、74円は1県、73円は2県、71円は4県、70円は1県、69円は2県、66円は2県、65円は8道県、64円は9府県、63円は8都府県)
- ・改定額の全国加重平均額は1,121円(昨年度1,055円)
- 全国加重平均額 66 円の引上げは、昭和 53 年度に目安制度が始まって以降で最高額 最高額(1,226円)に対する最低額(1,023円)の比率は、83.4% (昨年度は 81.8%。なお、この比率は 11 年連続の改善)

◆令和7年度の地域別最低賃金の改定状況の一覧

I I I I I I I I I I I I I I I I I I I		
都道府県名	答申された改定額	発効年月日
茨 城	1,074円 (+69円)	令和7年10月12日
栃木	1,068円 (+64円)	令和7年10月1日
群馬	1,063円 (+78円)	令和8年3月1日
埼 玉	1,141円 (+63円)	令和7年11月1日
千 葉	1,140円 (+64円)	令和7年10月3日
東京	1,226円 (+63円)	令和7年10月3日
神奈川	1,225円 (+63円)	令和7年10月4日
全国加重平均	1,121円 (+66円)	_

※使用者が地域別最低賃金額以上の賃金を支払わない場合、最低賃金法第40条により、 50万円以下の罰金に処されます。改定後の地域別最低賃金の額を必ず確認するように しましょう。

【厚生労働省】 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_63030.html

オフィス・ソメヤ通信

年金Q&A(19歳以上23歳未満の被扶養者にかかる認定)を公表(日本年金機構)

令和7年度税制改正を踏まえ、現下の厳しい人手不足の状況における就業調整対策等の観点から、19歳以上23歳未満の被扶養者に係る認定について、年間収入の要件が変更され、令和7年10月から適用されることになったことは、以前にお伝えしました。この度、この変更について、日本年金機構からQ&Aが公表されました。

---- 「年金Q&A (19歳以上 23歳未満の被扶養者にかかる認定)」から抜粋 ---

◆今回の変更のポイント

扶養認定日が令和7年10月1日以降で、扶養認定を受ける方が19歳以上23歳未満の場合 (被保険者の配偶者を除く。)は、現行の「年間収入130万円未満」が「年間収入150万円未満」に 変わります。

<Q&Aの例>

Q 今回(令和7年10月)の変更は、学生であることは要件ですか?

令和7年度税制改正における取り扱いと同様、学生であることの要件は求めません。 あくまでも、年齢によって判断します。

Q 年齢要件(19歳以上 23歳未満)は、いつの時点で判定するのですか?

年齢要件(19歳以上 23歳未満)は、扶養認定日が属する年の 12月 31日時点の年齢で判定します。

例えば、N年 10 月に 19 歳の誕生日を迎える場合には、N年(暦年)における年間収入 要件は 150 万円未満となります。

(参考) • • • 中略 • • •

なお、民法の期間に関する規定を準用するため、年齢は誕生日の前日において加算します。例えば、誕生日が1月1日である方は、12月31日において年齢が加算されます。

令和7年 10 月1日以降の届出で、扶養認定日が令和7年 10 月1日より前にさかのぼる 図 場合、19 歳以上 23 歳未満の被扶養者にかかる年間収入の要件は、どのように判定する のですか?

令和7年10月1日以降の届出で、令和7年10月1日より前の期間について認定する場合、19歳以上23歳未満の被扶養者にかかる年間収入の要件は130万円未満で判定します。

【日本年金機構】 https://www.nenkin.go.jp/oshirase/taisetu/2025/202508/0819.html

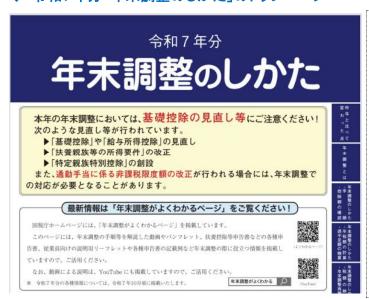
オフィス・ソメヤ通信 2

「令和7年分年末調整のしかた」を公表

国税庁から、「令和7年分年末調整のしかた」が公表されました。

変更点を含め、年末調整の手順などを今一度確認するためにも、今回公表された「令和7年分年末調整のしかた」を、早めにチェックしておきましょう。

◆「令和7年分 年末調整のしかた」のトップページ



トップページにも書かれていますが、本年の年末調整においては、基 礎控除の見直し等にご注意ください!

(X)

今回は、令和7年8月7日に令和7年4月年人事院勧告が行われ、令和7年4月1日以降の措置内容として自動車などの交通用具使用者に対する通動手当の額の引き上げが勧告されま日た。これを受け、令和7年4月1日にさかのぼって通勤手当に係る場合は、年末調整での対応が必要となるしたがあります。

☆他の関係資料(「給与所得の源泉徴収票等の法定調書の作成と提出の手引」など)のほか、パンフレットなどをまとめて公表する「年末調整がよくわかるページ(令和7年分)」については、10月頃公開予定とされています。

通勤手当に係る非課税限度額の改正の動向も含め、新たな情報が公表されましたら、随時お 伝えします。

【国税庁】https://www.nta.go.jp/publication/pamph/gensen/nencho2025/01.htm



ようやく朝晩が涼しく感じられるようになりましたが、いかがお過ごしでしょうか。 年齢とともに、暑さに弱くなっているため、今年の夏は、非常に厳しかったです。特に、真 夏のゴルフは、常に水分補給をしていたものの喉の渇きと暑さで心が折れそうになりました。 そろそろ心地よい秋風に吹かれながらのラウンドを期待したいです。

さて、今年も残こすところ3か月となりました。まだまだクリスマスや年末年始のことを考えることができる気温にはなっていませんが、準備万端で2026年を迎えたいと思います。

オフィス・ソメヤ通信 3